

# 花と緑の銀行だより

166号 2008.1



梅／中央植物園

目次	・花と緑の提言	2	・緑づくりコーナー	5
	・活動事例	3	・写真コーナー	6
次	・ステップアップ研修を受講して	4	・情報コーナー	7



## 新たなる花と緑のまちづくり

高岡市長 橋 廉一郎

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

日頃、花と緑の推進に多大なるご支援とご協力をいただいておりますことに、心より感謝を申し上げます。

高岡市では、市緑化審議会に新市の花・花木・木の選定をお願いいたしましたところ、昨年3月に、本市の自然や風土といった自然性や歴史・文化性、親和性を選定の視点におかれて、越中万葉の植物からそれぞれ、「かたかご」・「さくら」・「つま」の答申を受け制定をいたしました。

現在、この花・花木・木が、新市のシンボルとなるよう、皆様方のご支援、ご協力を賜り普及に努めています。

また、昨年9月には、新市として最初の総合計画を策定しました。

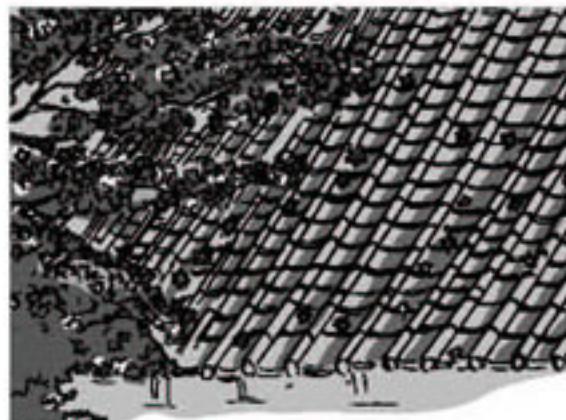
市民の皆様と一緒にまちづくりを進めていく「市民参加と協働」を基本に、「水・みどり・人 光り輝く躍動のまち 高岡」を都市の将来像とし、「万葉と前田家ゆかりの歴史と文化の時晴に会えるる

ふれあい交流都市」、「水・緑が織りなす自然の中で豊かさを実感できる ゆとり快適都市」、「市民の情熱とものづくりの活気があふれる かがやき協働都市」の実現を目指すこととしております。このまちづくりの目標の一つとして、「水・緑につつまれた安心して暮らせる 安らぎのまち」を柱に掲げ、市民の皆さんのが快適で安心して暮らせるよう緑化の推進と保全を位置づけております。

高岡市では、本年夏には、待望しております東海北陸自動車道の全線開通、平成21年には開町四百年の節目、平成26年には北陸新幹線の開業という大きな飛躍のときを迎え、今までに「黄金の10年」の真只中にあります。

新たな時代を迎えるにあたり、道路や水辺空間

などの緑化を図り、緑のネットワークづくりを推進するとともに、自然環境における緑（二上山、西山丘陵、高岡古城公園など）、歴史が伝える緑（瑞龍寺、勝興寺周辺など）、公園や公共施設における、緑の保全と活用をいっそう推進していくことが重要と考えております。



花と緑の銀行高岡支店や高岡市花いっぱい連盟のご協力のもと、花と緑にあふれた快適で潤いのある地域づくりに努めてまいりたいと考えております。

今後とも、花と緑の育成に情熱を持ち、地域の緑化推進のリーダーである頭取・グリーンキーパーの方々や市民の皆様方には、地域の緑化活動にいっそうご支援、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに財團法人花と緑の銀行の益々の発展と皆様方のご健康とご活躍をご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

## 地区住民と一体で桜並木を後世に

入善町横山用水桜並木保存会

会長 佐藤 勝秋

### ・横山用水桜並木のあゆみ

入善町の町村合併20周年記念行事（昭和48年）の一環として、横山用水路1500mの両岸に桜の苗木を植えました。高さ15mの苗木、杭、わら縄などは町当局から提供していただき、ソメイヨシノと八重桜の2種類を交互にあわせて500本を植樹しました。



満開の桜並木

10年後20年後には、この桜の木々がこの地の風土に馴染み、立派に成長し、人の心を癒し、楽しませ、やがては、この桜の下で、一顎を重ねつつお互い親睦がもてる「観桜会」などができる様になればと願いを込め、桜吹雪の花びらが海岸まで流れゆく風景を夢見ながらの植樹であったと思います。

平成4年度には、町が桜並木の隣に47区画の分譲宅地を造成しました。桜並木沿いに遊歩道を整備し、分譲地の目玉となりました。



住民誌出の草刈作業

この遊歩道は、桜並木や白馬連峰だけでなく、晴れた時には、能登半島まで見渡す日本海の大パノラマが楽しめるなど、絶好のウォーキングコースであると、自負しています。

一部枯死した桜もあり400本弱になりましたが、満開時には、花見見物や写真撮り、写生等に、他の市町村からもたくさん的人が訪れます。

「毎年楽しみにしている」「白馬連峰がバックに見えるので、雄大だ」などの声が、管理の更なる励みになっています。



### ・活動内容

主な活動は、

- 草刈（年1回）
- 追肥施用

（年1回） 快適な花見になるよう！

- 枯れ枝等の剪定（年1～数回）
- 害虫防除散布（年数回）

などであり、地区民総出での活動が30数年にわたり続いている。

なお、地球温暖化の影響か、アメリカシロヒトリの大量発生が頻発しています。

5年ほど前までは年2回の害虫駆除で対応できたのですが、ここ最近は、年4回ほど駆除を行う必要があり、同じ薬を繰り返し使用すると害虫に耐性ができるため、薬剤を毎回変えるなど、工夫をしながら、回数を抑える努力はしていますが、駆除の回数が徐々に増えています。

### ・これからの活動

このたび、「花と緑の銀行」から理事長表彰の受賞を賜り、身に余る光栄を経験させていただきます



枝打ち管理作業

した事は、現在に至るまで、先人が後世の人々に楽しんでもらおうと、桜並木の保存に大変な苦労を重ねてこられた贈り物と思い、感謝し、これを機会に今後とも、地区民が一体となり、横山用水桜並木を末永く世話をていきたいと、決意を新たにしました。

## ステップアップ研修を受講して

砺波市梅塙野地区グリーンキーパー 山岸節子



昨年、私は初めてグリーンキーパーの仲間入りをしたのですが、花のことは何にも知らないので、基本的なことを勉強したいと思って参加させてもらいました。開校式の折、皆さんの自己紹介を聞いて、ベテランの方ばかりで私は皆さんと一緒にについて行けるかとても心配になりました。この研修で県内各地域から1人ずつ6人1組の6班に別れて、中央植物園の特設花壇を、渡邊先生の教えを聞きながら、5月に花壇の配色、デザイン、微生物を増やす土づくりの実習、6月は水やりの基本と花がら摘みの仕方、害虫の見分け方、マルチングの実習、7月は宿根草の切り戻しをして株を大きくしたり、次の花芽を生かすことや雑草取りなどの手入れをしながら観察記録をし、メンバーの皆さんと仲良く親睦を図りながら楽しく受講することができました。



花壇実習

私の地域では昨年の暮れより国道359号線沿いにプランター花壇のチューリップの後に私の担当した花のアゲラタムを植えて、育ったことが実践出来て幸運でした。私が思った以上に花が大きく咲き華やかに見えました。9月はじめに葉ボタンとパンジー、ポピーの種まきを学びました。一応発芽して2センチ程になりましたが日光不足から、もやしの様に細く柔軟な葉となりました。春になら再挑戦したいと思います。

20回に及ぶステップアップ研修は、難しいながらも毎回楽しみに参加することができました。花づくりの方法や寄せ植えの実習、花の町小布施の視察旅行で、花づくりの楽しさと自然の草花の利用で見飽きない花壇づくりを学び、雪吊りと落葉樹の剪定は少しづつ、実行出来たらと思います。研修に参加して得た知識は、これから活動に地域の仲間と一緒に夢を持ちたいと思います。



研修討論

最後にいろいろお世話をいただいた先生方、花と緑の銀行、仲間の皆さんありがとうございました。皆様方に心から感謝申し上げます。

富山市大久保地区グリーンキーパー 杉森克実



大沢野総合行政センターに用事があるので訪ねた際、花と緑の銀行の担当者から、頭取・グリーンキーパーステップアップ研修がありますので受講しませんかと言われて、「まあ、考えてみます」と返事をしたのであるが、4月になり担当者から大沢野より2名推薦しましたからと…

初日は軽い気持ちで受講しましたが、受講生の自己紹介で、受講した動機や地域で活動されている内容をお聞きして、参加された受講生の皆様は、第一線で花づくりの活動をされている専門家であり、今まで以上に花づくりや花壇づくりのレベルアップを目指して研修に参加された人達でした。

この研修にはじめて参加した私は、花の名前も知らないし地域活動も不足しており、なんて軽率であったと悩んでおりました。でも受講した以上は、何か少しでも知識や技術の取得に努めようと思いました。

この研修では、職業学院の渡邊講師の10日間に渡る花壇管理実習が大変勉強になりました。花壇づくりの基礎知識、有機質を活用した土づくり、テーマづくり、宿根草と一年草の組み合わせ、夏秋の管理方法など、この研修で習得したことを早速我が家での花壇づくりで実践しました。

サルビア、ペゴニア、マリーゴールド、日々草とシロタエギク等を組み合わせて、先生から教わった事柄を実践した結果、満足できる花壇になったと思います。この10日間の実習は大変よかったです。

また、佐井講師からは、頭取・グリーンキーパーの花づくりや活動の心構えとして「人の心を捉える花づくり、花づくりは楽しくやろう」、「富山の花づくりは、頭取・グリーンキーパーが支えている」を力説され、私達の役割の重要性を改めて認識しました。大変参考になりました。

さらに放生津小学校の葛西校長先生からは、「花づくりは、人づくり、夢づくり」と題して、学校花壇づくりにおける地域とのかかわりや児童生徒の花壇管理作業が、花の美しさや生命力を見て学ぶことによって感性を育み心豊かな人生を育むことに役立つとの講義には非常に感動しました。

今後はこの研修で得た知識や技術を地域の花づくり、幸いにも大久保小学校の花壇づくりの要請もあり地域の方達と子供達の夢を育む花壇づくりに協力して頑張っていきたいと思います。

# 緑化木を加害するカイガラムシ類の冬季防除

日本樹木医会富山県支部

樹木医 西村正史

昨年の庭木の病害虫発生状況はどうでしたか。最近では「温暖化」のためかどうかはわかりませんが、病害虫の多発が目につき、庭木の防除に大変苦労されているのではないかと思います。そのような病害虫の中で、カイガラムシ類は、ふ化した直後の幼虫を除けば、堅い殻やロウ物質で覆われているため、防除効果が思うように上がらない代謝的な害虫として知られています。では、この害虫に対してどのような対策をとったらよいのでしょうか。今回はこのカイガラムシ類を対象に、冬季の効果的な防除対策をご紹介します。

## 代表的な防除薬剤

カイガラムシ類の効果的な薬剤は、「マシン油乳剤」です。この薬剤は、毒性で殺虫するのではなく、薬剤が乾燥した後に膜が形成され、その膜で虫を包み込むことにより害虫を窒息させるという特徴をもっています。

## 散布方法

「マシン油乳剤」を水で25~50倍に薄め、展着剤（薬剤の樹木への付着を高めるもの）を1リットル当たり数滴添加し、それを数日おきに2~3回散布します。樹木への散布量は薬剤が樹木の葉、枝、幹から滴り落ちる程度を目安とします。その際、購入した「マシン油乳剤」の使用方法をよく読んで、希釈率などを正確に守り、風のない日に、マスクやゴム手袋、帽子などでしっかりと防御して散布しましょう。また、皮膚や自動車、フェンス等に着かないように注意してください。万が一ついでしまった場合はすぐによく水で洗い流してください。

## 散布時期

12月中旬から3月中旬（常緑樹は2月上旬）ですが、本県のような積雪地帯では降雪直前か雪解け直後で、雨の降らない日が続く時に散布してください。

## 対象樹種

散布してよい樹木としては、落葉性庭木、アオキ、サンゴジュ、ツゲ、ツツジ、ツバキ、マサキ、モクセイ、モッコクなどですが、その樹木は、登録されている「マシン油乳剤」毎に決まっています（ラベルに適用樹種が記載されています）ので、購入時に必ず確認してください。

## 薬害

マツ類とサツキ類では品種により薬害が出ることがありますので、注意してください。その他、樹勢が衰えている樹木では散布を控える方がよいと思います。また、冬季以外の時期、例えば樹木が活動を始めた時期などに散布すればひどい薬害が発生しますので、注意してください。

## その他の対象害虫

この薬剤は、カイガラムシ類以外では、ハダニ類にも効果があります。しかし、病気には効力はありません。

## その他

冬季の防除方法として「マシン油乳剤」以外に「石灰硫酸合剤」があります。この薬剤は、カイガラムシ類やハダニ類とともに、さび病などの病気にも効果があります。しかし、この薬剤は強アルカリ性で金属を腐食させるので自動車などにかかるようになる散布があること、皮膚や粘膜に付着すると火傷のような病状になるので直接触ったり吸い込んだりしないことなど、注意すべき点が多くあります。そのため、病気に効果があることを考慮しても、庭木のカイガラムシの防除には「マシン油乳剤」がお勧めです。なお、「マシン油乳剤」と「石灰硫酸合剤」を同時に散布するとか、混合して散布することはできません。どうしても両者を散布したい時は1ヶ月程度の間隔をおいて散布してください。

# フラワーアレンジメントの世界

撮影：(社)日本フラワーデザイナー協会富山県支部

昨年9月中央植物園で開催された「フラワーアレンジメント展富山2007」の出品作品の中から紹介します。

## アレンジメント部門

70%以上が生花で花器に構成された作品



## ブーケ部門 結婚式等での使用を想定した作品



## フローラル・アクセサリーデ部分

植物素材を中心とした装身具・アクセサリー



## フローラル・コラージュ部門 植物素材を使用した平面構成作品



## ブティ デザイン部門

小さいながら大きな可能性を秘めた作品

## 花と緑のニュース

### 第35回花と緑の大会が開催される

平成19年度第35回花と緑の大会が、去る11月6日、富山市婦中ふれあい館において、石井知事はじめ県内各地の頭取・グリーンキーパーや関係者の皆さん約600名が参加され盛大に開催されました。大会は、県の環境部門功労表彰をはじめ、(財)花と緑の銀行理事長表彰、普及用ポスター・標語および富山県花のまちづくりコンクールの入賞者表彰が行われました。受賞者の皆さんには、おめでとうございました。

表彰式の後、国際日本文化研究センターの白樺教授から「日本の生活文化とガーデニング」と題して日本の庭園・造園の歴史について、古絵図などに描かれている庭園などで花見などを楽しんでいる人々の様子から、日本人の花や緑に対する情説溢れる豊かな生活文化感が紹介される等、これからの花と緑の活動に大変参考となる講演がありました。



大会会場（婦中ふれあい館）



県環境部門功労表彰者の皆さん



知事さんと記念撮影（学校花壇）



講演会の様子

### 〈お知らせ〉 第18回花と緑のフェスティバルの開催について

第18回花と緑のフェスティバルの開催日程とイベント内容が下記の通り決まりました。今回は、花と緑の環境が整っている中央植物園でイベント内容も充実して開催されます。花と緑を愛する県民の皆さんはじめの関係者の多数の参加を期待しております。

☆開催場所／富山県中央植物園（サンライトホール、ドリアスホール）富山市婦中町上轟田42  
入園料が必要となります（大人600円、高校生以下無料）。

☆開催期日／平成20年2月22日（金）～24日（日）

☆展示およびイベント内容（太字は新たなイベント）

●生活の中への花と緑の取り入れ

生け花、盆栽、おもと、憩いの庭、チューリップと緑のミニ庭園、特産「とやまの花」（切り花、鉢花）展示、県内育成チューリップ品種の展示、コンテナーガーデンコンテスト

●花と緑の新しい利用法の紹介

花のデコレーション・フラワーデザイン、押し花作品展示、ドライアートフラワー、フラワーポトル作品展示

●花と緑を取り巻く環境の紹介

森林環境のとり組み、無花粉杉「はるよこい」パネル展示、木工製品展示販売、優秀花壇パネル展示

●家庭への花と緑の普及

フラワーアレンジメント教室、ブリザーブドフラワーアレンジメント教室、ガーデニング教室、飛ぶ種の模型作り教室、体験・実演コーナー（押し花、鏡子でウッディクラフト、庭と判定管理、盆栽、おもと、生け花）、新品种・話題品種の展示、花と緑の物品販売（草花種子、球根、切り花・鉢花販売）、花と緑の相談コーナー

●交流の促進

植物園内クイズラリー、抽選コーナー

☆問い合わせ／第18回花と緑のフェスティバル実行委員会事務局

(財)花と緑の銀行普及研修部 (TEL 076-466-2425)

表紙・裏表紙写真提供／成瀬博行（富山市）

表紙：春の光を感じていち早く咲く梅花2輪

裏表紙：富山県の誇る立山連峰の雪景色



常願寺川から立山連峰を望む／富山市

花と緑の銀行だより 166号

発行日 平成20年1月

監修発行 財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市婦中町上畠田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上畠田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org>

富山県花博会センター

〒939-1383 富山県砺波市高瀬46-3

TEL 0763-32-1187

FAX 0763-32-1219

ホームページアドレス <http://WWW.pref.toyama.jp/branches/1692/1692.htm>

県民公園頸城の森

〒939-1431 富山県砺波市頸城156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranlyounomori/>

100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。

